

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">教育社会学</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文2回生 文学部英米2回生 文学部文財2回生 文学部コミ2回生 人間人社2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">松浦 善満</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">教育問題の社会的探求と解決策の臨床的検討</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>いじめ・不登校・社会的引きこもり・学級崩壊・学力問題など教育問題の実態をリアルに提示し、その分析を教育社会学の手法をもちいて分析するとともに、解決策や対応策について吟味・検討する。 受講生には教育問題への関心を高めるだけでなく、一市民としての対応策を提案していただく。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業出席・授業発表・試験を総合して評価する</p>		
<p>テキスト</p> <p>当日紹介 販売</p>	<p>著者</p> <p>松浦善満</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>いじめにとりくんだ国々</p>	<p>著者</p> <p>土屋基規・PK/スミス</p>	<p>出版社</p> <p>ミネルバ書房</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、教育社会学へのいざない 2、少年非行の社会学（1） 3、少年非行の社会学（2） 4、少年非行の社会学（3） 5、いじめ問題の社会学（1）日本のいじめ 6、いじめ問題の社会学（2）世界のいじめ 7、不登校問題の社会学（1）現状分析 8、不登校問題の社会学（2）対応策 9、不登校問題の社会学（3）ある教師の対応・ケーススタディー 10、学級崩壊の社会学（1）現状分析 11、学級崩壊の社会学（2）その対応策 12、学級崩壊の社会学（3）教師の現状 13、教育問題と教師（1）多忙化問題 14、まとめ（1） 15、まとめ（2） 		